

請願第 2 号

T o k y o 2 0 2 0 オリンピック・パラリンピック参加国のバスケットボール選手団事前トレーニングキャンプ誘致に関する請願

- 1 受理年月日 平成29年7月21日
- 2 請願者 国分寺市北町1-20-17
立川市バスケットボール協会
会長 福田 一平 外 11名
- 3 紹介議員 中山 ひと美、福島 正美、伊藤 大輔、中町 聡

4 請願の要旨

2020東京オリンピック・パラリンピック参加国のバスケットボール選手団事前トレーニングキャンプを、立川市に誘致して下さいますようお願いいたします。

5 請願の理由

2020東京オリンピック・パラリンピックを3年後に控え、関東近県及び全国の主要都市は、参加各国に選手団の事前トレーニングキャンプ誘致を働きかけています。

事前キャンプは、各国オリンピック・パラリンピック委員会や競技団体等が、時差や気候への順応のために大会前に任意で行うトレーニングキャンプであり、開催都市だけでなく開催国内や近隣国等で実施されます。

選手は、最適な環境で事前のトレーニングを行うことにより、大会本番で最高のパフォーマンスを発揮することができます。

また、キャンプを受け入れる自治体にとっては、地域振興及び国際交流の促進が期待できます。

キャンプを通じた交流として、立川市民によるキャンプの見学や選手団とのふれあいイベント、さらに市内小中学校でのスポーツ教室の開催等が考えられます。

これらの交流を通じて、オリンピック・パラリンピック教育の推進や市民ボランティアの養成、多言語対応等、有形無形のレガシーが創出されます。

練習会場となる体育館は、泉市民体育館及び柴崎市民体育館の2館を有し、さらに、立飛ホールディングス（代表取締役社長：村山正道氏）が建設中の（仮称）アリーナ立川立飛（今年の10月に竣工予定）を全面的に提供して下さることになっています。

私たちが暮らす立川市は、多摩地域の経済産業の中核であり、交通の要でアクセスも至便の地にあり、治安及び防災も安定しホテル等の宿泊施設も完備しています。

さらに、北に玉川上水、南に多摩川、中心地に昭和記念公園を配し、水と緑に囲まれた豊かな自然環境は多摩地域随一と言えます。

私たちの愛する町、「立川市」に2020東京オリンピック・パラリンピック参加国のバスケットボール選手団事前トレーニングキャンプを誘致して頂きますよう、ご尽力をお願いいたします。